

災害に備えた準備

非常持ち出し品

市町村の避難情報が出た時

家が倒壊しそう

火事の危険が迫ってきた

避難

身につけるもの

- 防災タウンページ
- ヘルメットなど 厚底の靴
- 軍手 マスク 笛
- 携帯電話・スマートフォン



リュックに入れて持ち出すもの

- 飲料水(500ml程度 家族各人1本ずつ)
- 携帯ラジオ
- 筆記用具・メモ帳
- トイレトペーパー・ティッシュ・ウェットティッシュ
- 衛生用品・生理用品
- 保険証・メモカード
- 携行食
(ビスケット、チョコレート、バランス栄養食品など)
- 懐中電灯・予備電池 ビニール袋・ポリ袋
- 防寒具・雨具・携帯カイロ 応急医療品
- 充電器・モバイルバッテリー
- タオル・下着・靴下
- 現金(小銭)・通帳・印鑑
- 多目的ナイフ
- おむつ・離乳食・乳児用ミルク
- 入れ歯・コンタクトレンズ・眼鏡
- 常備薬・お薬手帳



日頃から使用しているものを準備しておきましょう

備蓄品

救援物資が届くまで、または災害が落ち着くまで、生活をするためのものです。

必ず用意しておくもの

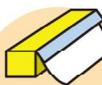
- 飲料水(1人1日3ℓ×7日分×家族数)
- 保存可能な食料(7日～10日分程度)
- カセットコンロ(予備ボンベ)
- 紙皿・紙コップ・割り箸 タオル・毛布
- ランタン・懐中電灯(予備電池)
- 簡易トイレまたはポリ袋
- ウォータータンク・キャリーカート



災害で散乱した部屋を片付ける際に役立ちます

必要になるもの

- スリッパ
- ほうき・ちり取り
- スコップ・バール・ジャッキ・おののこぎり
- 軍手 ブルーシート
- 使い捨てカイロ
- ラップ・アルミホイル
- ハンディろ過機(水の清浄)
- トイレトペーパー・ティッシュ
- レジ袋 45リットルゴミ袋



水を無駄にできないときにお皿に巻いて使えます

家族構成によって必要になるもの

- 母子健康手帳 粉ミルク・ほ乳瓶・離乳食
- おむつ・おしりふき
- 生理用品
- 障がい者手帳・介護用品



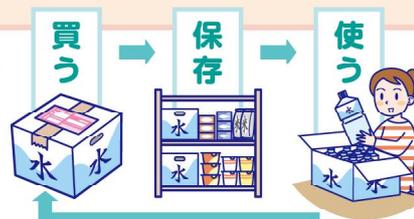
お風呂に入れない場合にも身体をふくこともできます

ペットがいる場合

- ペットフード その他ペット用品

食料品と飲料水は「買う」「保存」「使う」のサイクルで

備蓄用の食料品や飲料水にも賞味期限があります。気づいたら期限切れ、といった事態を防ぐためには購入・保存、日常生活で消費して、必要量が欠けないよう必ず補充する“ローリングストック方式”をとるようにしましょう。



被災生活

熊本地震被災者が語る、あった方がよいと思う

「モノ」



被災生活ではお風呂に入れる機会が減るため、**体を拭くシートや除菌タオル**なども常備しておく。(58歳女性)

※被災体験であり、すべての方が共感できるものではありません。

～予備電源は確保できていますか～

備蓄など災害への備えには、停電時にも災害情報が入手できるよう、**モバイルバッテリーや乾電池式充電器などの予備電源も忘れずに準備**しておきましょう。

ちなみに、2018年9月の台風21号では、暴風により電柱が倒れる被害が相次ぎ、大阪府内で約100万軒以上の大規模停電が発生し、復旧までに1週間近く長引いた地域がありました。

防災行政無線・広報車

防災行政無線や広報車で避難勧告や避難指示をお伝えします。また、救援物資の配布場所や給水車が来る場所など生活に密接に関わる情報をお知らせします。

おおさか防災ネット

おおさか防災ネット <http://www.osaka-bousai.net/>

地震・津波・台風情報や気象に関する注意報・警報、府内に発表される避難勧告や避難指示、ライフライン情報へのリンクなど幅広い防災情報を提供しています。また、携帯メールアドレスを「防災情報メール」に登録しておくと、気象・地震・津波情報などがメールで配信されます。

登録方法/解除したい場合も同じ方法です。

「touroku@osaka-bousai.net」へ空メールを送信すると登録(解除)用メールが送られてきます。バーコードリーダー機能付き携帯なら二次元バーコードを読み取り送信してください。



テレビラジオ

発災時、情報収集手段のうち最も利用するのはテレビ・ラジオ。特にラジオは停電の中で、最も早く、確実な情報入手するために有効です。充電器とともに必ず準備するようにしましょう。

(予備乾電池の
買置きも忘れずに)

携帯電話 スマートフォン

東日本大震災・熊本地震ではSNSを通じた安否確認や情報収集が有効的でした。

SNS(ツイッター、フェイスブック、ライン、ミクシイ等)でのつながりのある友人を通じて安否の確認やいろいろな情報を収集・共有しよう。

最寄の自治体ともつながっておこう。

ただし、携帯電話、スマートフォンはバッテリーの消費が早いので、必ず予備の充電器を準備するようにしましょう。

緊急地震速報

大地震が起きたことを揺れ始める直前に知らせたら、わずか10秒くらいの時間でも頭を守るなどつつさの対応をとることが出来ます。「まもなく大きな揺れが到達します」と知らせるのが「緊急地震速報」です。緊急地震速報は、気象庁が発表し、防災行政無線、テレビ・ラジオ、携帯電話の「緊急速報メール」などで伝えられます。

河川カメラ

大雨時、河川氾濫などが危惧される際に、住民の方が迅速な避難行動をとれるよう、河川の危険個所の状況をリアルタイムで入手できる河川カメラを設置し、情報を発信しています。

大阪府河川カメラ

<http://www.osaka-pref-rivercam.info/>



「り災証明書」を申請する



被災した家屋や事務所などの被害の程度を証明する書類。市区町村が現地調査を行い発行するもので、「全壊」「大規模半壊」「半壊」「一部損壊」といった区分で被害のレベルを判定します。



～災害時における正確な情報入手について～

災害時には正しい情報を入手することが重要であり、特にインターネット等を活用して**タイムリーな災害情報入手が有効**です。

スマートフォン等を活用すれば、**防災アプリやテレビ・ラジオで災害情報の入手、SNSでの安否確認等**ができます。

大阪府危機管理室・福祉部福祉総務課 <http://www.pref.osaka.lg.jp>
 〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目 / TEL : 06-6941-0351 (代表)
 【このチラシは、NTTタウンページ株式会社のご協力により作成しています】